

第7回会議資料「今後の放課後児童クラブについて」
子ども・子育て会議委員より寄せられたご意見

第7回会議の「今後の放課後児童クラブについて」で子育て支援課案を説明した際に、後日「今後の放課後児童クラブについて」ご意見をいただくことになっておりましたが、下記のとおりご意見がありました。

1. 照会日 平成26年8月6日
2. 回答期日 平成26年8月29日まで
3. 回答方法 郵送又はFAX
4. 回答委員 11委員

○対象児童拡大について	
拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・対象拡大に賛成です。子どもが遊ぶ場所としても特に夏休み等だけでも全学年に ・対象児童を全学年にする場合は、学年ごとの教室が必要。 ・対象拡大には賛成ですが、十分な受入体制を整えてからに ・対象児童については、兄弟などでの利用を考えると一気に拡大したほうがよい ・当園（ひまわり幼稚園）学童保育クラブの状況から高学年のニーズは十分あると思う ・様々な世代が集い共通の体験は、現在では稀なこと。
現状維持	<ul style="list-style-type: none"> ・対象児童の拡大は不要と思う ・ニーズ調査結果から高学年の利用は多くないのではないか ・4年生から6年生の入級は少ないのでは。 ・空き教室などから今年度は準備、来年度は人材確保等、再来年度を目標とすべきでは
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・対象拡大、時間延長は親御さんにとって安心な施策、一方子どもの育つ環境として不安も
○時間延長について	
延長	<ul style="list-style-type: none"> ・延長時間はすべて19:15に統一した方がわかりやすい
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・時間延長で子どもの夕食時間や就寝時間も遅くなり、親子共に過ごす時間も減り、子どもの健全な成長、社会的自立に及ぼす影響はどうか
○支援員について	
資格・資質等	<ul style="list-style-type: none"> ・専門の教育を受けた指導員を。悲惨な事故や事件を起こさないためにも専門職の配置を。 ・支援員は、資格にとらわれずに、適任者（ボランティア精神のある方）を採用すべき ・学力、メンタル、身体的なことを学ぶ研修を定期的実施 ・資格経験はもとより、暖かな人柄で前向きポジティブな人材を採用されたい ・弱っている時の子どもの心には、優しく寄り添いながら一歩前に踏み出すためのアドバイスができる専門性も研修できる体制を整えられたい
人員等	<ul style="list-style-type: none"> ・支援を要する子どもが増えているので十分な支援員の確保を（質量ともに） ・災害時の対応も十分に考慮した人と備品の配置を。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・支援員と現指導員との違いは

○放課後児童クラブの在り方について	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 比較的自由に遊べる場所（児童館）が必要ではないか、児童館のニーズの低い数値は、施設数が少ないためであり、整備すれば需要がある。整備が難しい場合、放課後児童クラブの場を自由に遊べる場所として利用できれば。 ・ トワイライトスクールが参考になるのでは。 ・ 子どもたちの放課後の過ごし方は人格形成や成長に大変重要 <p>* トワイライトスクールとは、 学年の異なる友達と自由に遊んだり、学んだり、体験活動に参加したり、地域の人々と交流したりすることを通じて、自主性、社会性、創造性を育むことを目的として、小学校施設を活用して実施している事業です。参加費無料。（保険料・実費負担あり）</p>
○その他	
運 営	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開設時間や支援員の配置は、子育て支援課（案）で良いと思う ・ 基本は（案）で良いと思う ・ 早めに対応して、1日でも早く案を実現してほしい ・ 学校、PTAとの意見交換会を定期的に行い、情報共有を行う ・ お昼寝タイムも全学年を対象としない
料 金	・ 利用料、おやつ代などは口座引き落としの方が効率的
入 級	・ 就学前の滞納状況等を考慮した入級制限等も必要
保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 父兄会は必要ない ・ 今小学校に通っている親にもヒアリングできればよりニーズがはっきりするのでは